

## オーストラリア 核果類産業は好天と市場拡大により回復

FreshPlaza 2023年11月24日

オーストラリアの核果類産業(モモ、ネクタリン等)は、良好な天候条件と市場の拡大により、今シーズンは大幅に回復している。サマーフルーツ・オーストラリア社のトレバー・ランフォードCEOは、これからの有望な出荷シーズンを楽しみにしている。(以下「」は同氏の発言)

「今年の作柄は大幅に良くなっている。問題のない天候条件が続き、着果が良好であった。一部の早生品種は、出荷量が少ないものもあるかもしれないが、サイズも食味も良く、品質は保たれている。」この楽観的な見通しは、昨年の悪天候による困難の後で、安堵感を与えてくれる。「昨年の同時期の寒さと雨を考えると、それに比べて1千%良くなったと言える。」

今シーズンの果実の甘さについてランフォード氏は、「早い時期の観測として、果実の品質は国内市場及び国際市場の仕様を満たしている。全体的に、寒さで果実の成熟が進まなかった昨年と比べて、はるかに甘く風味豊かな果実が見られる」と言う。

核果類産業は、国内では小売からの強力なサポートを必要としている。「小売業者には、消費者に適切な価格で販売し、生産者に十分な収益を得させることを確実に行ってもらう必要がある。生産コストを下回る価格で果実を売ることはできない。」

輸出に関しては、中国が主要市場として浮上しており、有望な数字が出ている。「11月19日までの輸出量で見ると、輸出総量は770トンで、昨年より151%増加した。」中国以外では、カナダ、シンガポール及び中東、特にアラブ首長国連邦が、モモ、ネクタリン、早生のアプリコットの重要な市場である。

年末の休暇シーズンが近づく中、業界は引き続き売上の増加を期待している。「従来から、スモモの輸出は12月下旬から始まるが、モモとネクタリンはクリスマス前後に輸出が増加する。気象条件が良ければ、高品質で味の良い果実を出荷することができる。」オーストラリアの核果類産業は、天候の改善と市場機会の拡大に支えられて上昇傾向にあり、同社は国内外で高品質な農産物の堅調な販売を期待している。

## 南アフリカ 北ケープ州でブドウの収穫が始まる

FreshPlaza 2023年11月24日

北ケープ州のブドウ農家が好む暑さ - 昨日は36°C - となっている。北ケープ州の匿名希望のブドウ業者の幹部は、「今後2週間は雨が降らないと予測されており、ブドウの成熟が早まると予想している。月曜日にプライム品種とアーリースイート品種の梱包を始めた。金曜日にはスターライトの梱包を始める」と述べた。

同氏はその会社のブドウはすべて売約済みだと言う - 実際、注文は供給可能量を上回っているが、シーズンの初めには普通のこと、その後の需要は横ばいになる。

現在、梱包され出荷されているブドウの多くは、ヨーロッパと英国のクリスマス前の小売計画に充てることを目的としている。ベトナム、シンガポール、マレーシアも南アフリカの早生品種を購入している。

中国ではペルー産のスイートグローブがあるため、中国のバイヤーが望む品種が出せるまで、出荷シーズンの初期段階では南アフリカ産は締め出される。「年末までに梱包したラリ品種やミッドナイトビューティーは、中国の旧正月に間に合うように送れるはずだ。残念ながら、中国の旧正月の日付は、弊社のスイートグローブには早すぎる。」

港湾の混雑は今に始まったことではなく、柑橘類の出荷シーズンを終えたばかりの物流業者は、南アフリカの予測不可能な物流と、常に用意しておくべき代替計画を熟知している。

同氏は過度に心配しているわけではない。コンテナは問題なく確保したが、念のため冷蔵船や航空貨物の利用も検討しているという(ただし、航空便には課題がある)。

執筆者: キャロライズ・ヤンセン